

シラオイハコベ	<i>Stellaria fenzlii</i> Regel	準絶滅危惧
		ナデシコ科
選定理由	分布地の一部で個体数が減少している。	写真(千藤克彦)
形態の特徴	茎は直立し、節に短い毛があって上部は分枝し、高さ15-30cmになる。葉は柄がなく、広披針形~披針形で長さ2-7cm。花期は6-8月、頂生の集散花序となる。萼片は広披針形で先はとがり、長さ2.5-4mm。花弁は白色で2深裂し、萼より短い。蒴果は長卵形で6-8裂する。	
生態的特徴	針葉樹林下の岩上に生える多年草。	
分布状況	カムチャッカ、オホーツク、サハリン、千島、アムール、ウスリー、北海道、本州中部以北に分布。	
減少要因	開発等による生育に適した針葉樹林と岩地の減少。	
保全対策	生育に適した針葉樹林と岩地環境の保全。	
特記事項		
参考文献	北川政夫(1982)ナデシコ科. 日本の野生植物1離弁花類. 平凡社	

文責:千藤克彦